

第3回地域夢・未来カフェ in けやき坂

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため、「第3回地域夢・未来カフェ in けやき坂」が開催されました。

日時：2012年12月10日（月）19:30～21:30

場所：けやき坂公民館

参加人数：市民21名+市WGメンバー3名

当日のスケジュール

- 19:30 開会・地域分権制度について
- 19:45 当日スケジュール説明・ふりかえり
- 19:55 イントロダクション
- 20:05 テーブルワーク（活動案のとりまとめ）
- 21:10 グループ発表
- 21:25 今後の流れの説明
- 21:30 閉会

当日スケジュール説明～イントロダクション

開会のあいさつの後、前回のふりかえりと当日のスケジュールの説明がありました。その後、アイスブレイク「喪失体験」を行いました。フセンに「友人」「健康」「趣味」「お金」「役割」「仕事」という6つのキーワードを書き、ジャンケンに負けると1枚ずつ破っていくゲームです。残った付箋は人によりさまざまで、参加者の中でも価値観が異なっていることを体感しました。また、6つのキーワードは、年をとるごとに失っていくものですが、地域活動等で新しく得ることもできるという話もありました。



テーブルワーク～グループ発表

各グループのテーマ

- Aグループ：元気な高齢者を活かす街にする
- Bグループ：子どもが中心に交流が生まれる街にする
- Cグループ：地域のふれあいが感じられる街にする
- Dグループ：地域で日常生活を支え合う街にする

テーブルワークでは、第2回に引き続いて活発な議論が行われました。そして、試行錯誤しながら最終的な活動案がとりまとめられました。

最後に、各グループから活動案の発表がありました。Aグループでは、退職（前）の男性ができることを宣言した「けやき坂“できます”宣言」、Bグループでは既存事業を見直して「子ども委員会をつくる」、Cグループでは、「行きたくなる行事が盛んなけやき坂」、そしてDグループでは、「地域で支えあうボランティア活動」についての話し合いが行われ、発表されました。



Aグループ けやき坂“できます”宣言

退職（前）の男性が“できること”を宣言

- ・ゴルフ、木工、マジック、パソコン
庭木の剪定、家の工事
- ・家から出るきっかけづくりになる
- ・特技、技術を持っている人多い
- ・周りにどんな人がいるかわからない
- ・地域全体の人を対象になっていく
- ・“現役時代”からの地域とのかかわりも大事ではないか
- ・助走期間が必要である
- ・奥さんが仕向ける

広報

- ・媒体が必要である
- ・仕組みの“見える化”、ルールづくり
- ・冊子にまとめる
- ・HPも必要である
- ・奥さんが投稿
- ・編集、デザインは大学と連携する
- ・印刷費はどうするか？
- ・差し替えやファイリングができること

- ・誰でも見られることが重要である
- ・コラボし、新しいつながりが生まれる

感謝を可視化できる仕組み

- ・例えば地域通貨など
- ・感謝のやりとりができるもの
- ・感謝されることが重要である
- ・ちょっとしたお金ももらえればいい

市役所の役割

- ・大学とのつなぎ役になる
- ・お金、予算化してもらう
- ・拠点づくり

目的

- ・健康づくり
- ・生きがいづくり
- ・地域にたくさんの知り合いができる
- ・コミュニティ、自治会との役割分担が大事
→ “夢くらぶ”の活動として可能性が大いにある

Bグループ 子ども委員会をつくる

コミュニティの中に子ども委員会をつくる

- ・まずは話し合うことから始める
- ・運営面をどうするか？

コミュニティをもっと活用する

- ・既存事業の見直して、コラボできるものはする
- ・日帰りスキー体験は、こども会とスポーツクラブ21がコラボしている
- ・キャンプは、コミュニティとこども会がコラボしている

こども自身が企画する

- ・こどもが世話役になる
- ・修学旅行は中学生が企画している

コミュニティ活動

- ・問題点として、一部有償になっている
- ・子ども自習教室にお金が出た
(安全管理費の名目で)

人

- ・担い手がホントに不足しているの？
- ・できることを出し合って、地域の人材を確保する
- ・活用しきれていないのでは？
- ・担い手に合わせた組織づくりをする

その他

- ・サポートする人を循環させる
- ・点を線にしていく

Cグループ 行きたくなる行事が盛んなけやき坂

行事

- ・色々な活動をいかに充実させるか！
- ・メインの行事や特集の行事、サークルの行事など
- ・〇〇しませんか？とおさそいしてみる

情報発信

- ・記事を募集する
- ・地域のHPがない
- ・コミュニティ新聞(年4回)を活用する
- ・自治会便りを活用する
- ・月1回…直近のイベント
- ・年4回…大きめのイベント

パソコンを使わない人へのフォロー

- ・サポートする(教えてあげる)
- ・印刷して紙媒体でも配布する
- ・専門に担当する人が必要である
- ・広報担当だと、交替すると途絶える
- ・情報発信チームをどうみつけるか！

イメージ

- ・カフェのようなもの(ふらっと立ち寄れる)
- ・気持ちがあたたかく、ほっこりする

- ・趣味から生きがいへつながる

内容

- ・掃除のチェックがあると便利
- ・売ります、買います情報
- ・レシピや新しいお店の情報
- ・地域のハッピーニュース(入学式など)
- ・「できます」「してほしい」がわかるもの
- ・子育て中のお困りごと
- ・防犯、不審者情報(リアルタイム)

母体

- ・“やりがい・生きがい”で集める
- ・募集はコミュニティからする
- ・興味のある人を集める
- ・好きな人(写真、文章、町歩き)+勉強会(公民館主催の講座)→ボランティアグループの発足(チーム化)
- ・公民館に事務局を設置する

情報管理の徹底

- ・地域担当職員が担う？
- ・個人情報の取り扱いをどうするか？

Dグループ 地域で支えあうボランティア活動

メニュー

- ・①家事手伝い、②代行サービス、③買い物支援
- ・簡単なものから・まず柱をつくる

スケジュール

- ①準備委員会の立ち上げ
 - ・コミュニティの運営委員会に諮る(月1回)
 - ・新規立ち上げ=福祉委員会内のボランティア部会
 - ・新しい活動者を募る
- ②住民への周知
 - ・コミュニティ誌等の広報誌(各戸配布)

料金(内容による)

- ・無償 … 簡易なもの
- ・有償 … 労力、技術

人材バンク

- ・登録制(地域住民をできるだけたくさん登録)
- ・保険完備 ← コミュニティの運営費や行政の支援

その他

- ・郵便局、コープに協力依頼
- ・先進事例の視察、研究は行政からの支援

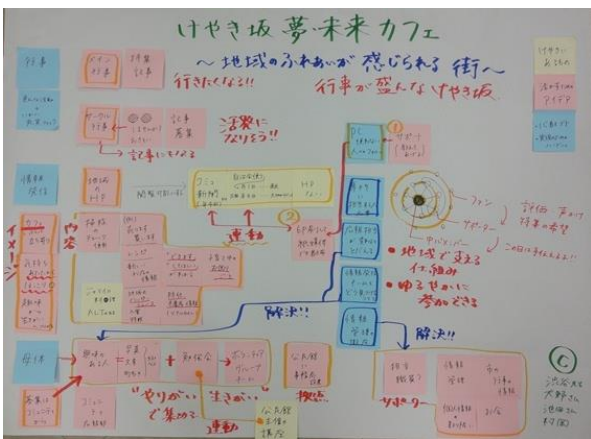
Aグループ けやき坂“できます”宣言



Bグループ 子ども委員会をつくる



Cグループ 行きたくなる行事が盛んなけやき坂



Dグループ 地域で支えあうボランティア活動

